



# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄証) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.9.17. No. 3280

## ITF(国際運輸労連)世界大会で醜態さらけだす 孤立深めるJR総連

八月二日から七日間にわたりイタリアで開かれていたITF世界大会にJR総連は、前代未聞にも代議員七名の他に三十七名の傍聴団を莫大な費用をかけて送り込み、当局と革マルが結託し開こうとしている「世界鉄道安全会議」(十月三十日から十一月一日)への勧誘を必死でおこなった。しかし、革マルの見えすいた狙いは、ことごとく破産!

まず、ITF本部からオブザーバーの数が多すぎると注意され結局二十五名は会場に入らず、同時イヤホーンも与えられないという有様であったといわれている。

又、「世界鉄道安全会議」について「とにかく一国でもいいから参加してくれ」と必死に勧誘したもののITF本部をはじめイギリス、スウェーデン、西独、スペイン、イタリア、フランス、インドの各国労とアメリカのITF加盟労組などから

### ボイコットさせろ がっくりの革マル 「世界鉄道安全会議」

当局 総連 野合

総ボイコットされ消耗感にうちひしがれスゴゴ引き上げるといふ惨状を露呈したということである。

当然にも、JR総連内部から「高い費用を使って遊びにいったのか」「JR総連が世界の交通労働者の中で完全に孤立していることを確認しに行つたようなもの」等といった不満や批判が出てきているのは必然である。又、何を血まよったかJR総連革マル分子は、組合の大会会場で「会社のパンフ」を配布するという醜態をさらけ出しているのである。

つまり、当時、柴田(JR総連書記長・革マル)

ITF書記長、ルイス氏の総括答弁

ITFは一貫して分割民営化に反対してきた。日本の国鉄の民営化に反対し、公営企業の民営化には反対である。(要旨)

ITF世界大会には日本から私鉄総連や国労、鉄産労、JR総連など約100名が参加。

柴田(JR総連書記長) 発言

分割民営化で雇用が守られた。労組組織が発展している。労賃条件が向上し、事故は大幅に減っている。経営は黒字になった。(会場はアゼン!!!)(要旨)

が動議の中で「世界鉄道安全会議」への要請を予定していたが、あまりの反発の激しさにうちのめされてしまい結局そのことは一言もふれることができず、発言にしても「何を言っているのかサツパリわからない。ただJRは黒字になったと繰り返すのみで会場全体が完全に白けきった」と報告されている。

追い詰められ前後の見境いをうしなつた革マル分子は、会社当局へのいのがれのためか、やおら、会社のパンフを取り出しアライバイ的に配り出したのだから会場全体がアゼンとしたのも当然であろう。

「世界鉄道安全会議」は百パーセント「JR体制」の危機をおし隠すためのトンデモない代物ではないのだ。

断じて、このような会議策謀を許すことはできないのである。

危機隠しの為の「世界鉄道安全会議」